

#勝利への方程式

#班員 宮本諒人 根井大輝 田口碧音 加藤紘伎

指導者：寺崎泰弘先生 永吉彩芽先生 アドバイザー：田部豊様



#研究動機

サッカーの試合で勝率を上げるにはどのようにすれば良いのかを調べたいと思ったからです。

#仮説2

ボールをたくさん回し、時間をかけてゴールに向かうよりも少ないパス本数で時間をかけずにゴールに向かうほうが得点生まれやすいのではないかと?

#研究方法

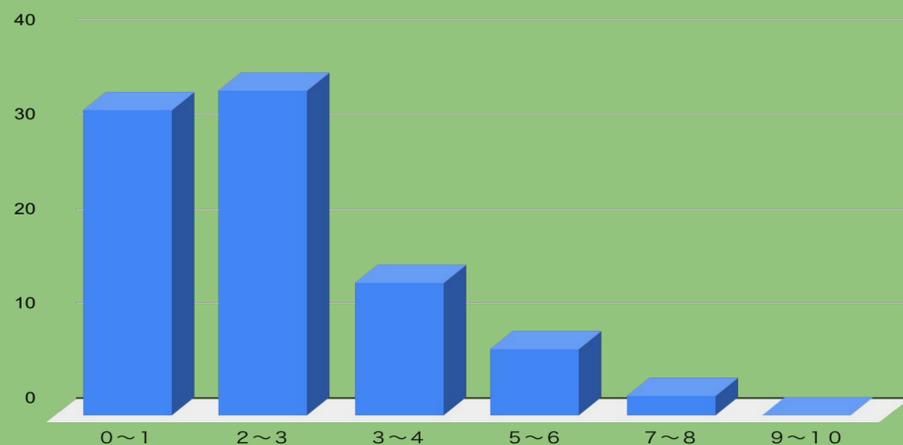
1 Jリーグ2023の試合(306試合)と結果を見てポゼッション率、ゴール(142本)スコア、パス本数を調べる。

2 調べた内容をスプレッドシートに集計。

3 調べて集めたデータをグラフに直し、そのデータから関係を読みとる。

#結果2

繋ぐパス本数が少ないほど、得点率が高いことが分かった。



#必要な道具

- ・タブレット
- ・数字ルーレット
- ・やる気
- ・数学力

#仮説1

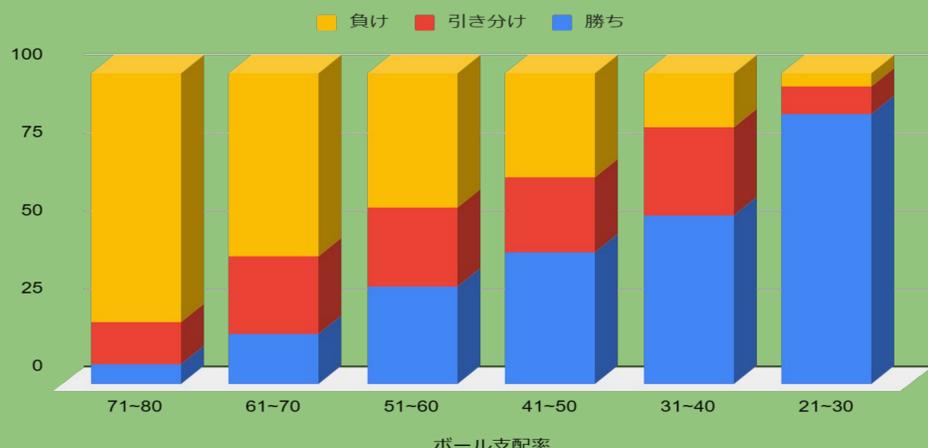
ボール支配率が低いチームよりもボール支配率が高いチームの方が勝率が低い方ではないだろうか?

#まとめ

結果1、2より攻撃的な戦術よりも守備的な戦術をとり、攻める時は縦に速く少ないパス本数でゴールに向かうことによって得点生まれやすくなり、勝率が上がることは分かった。

#結果1

ボール支配率が低いチームほど勝率が高いことが分かった。



#今後したいこと

攻撃を開始してからゴールを決めるまでの時間を測ったり、実際にカウンター(時間をかけずに攻めること)を使っているチームはどれくらい勝っているかを調べてどれくらい自分達が今回調べたデータと関係があるかを調べたらもっと研究内容が深まるのではないかと思いました。

#参考文献(Jリーグ公式記録)

<https://www.google.com/search?q=j%E3%83%AA%E3%83%BC%E3%82%B0+%E7%B5%90%E6%9E%9C&oq=&aqs=chrome.69j59j450l8.2774j0j15&sourceid=chrome&ie=UTF-8#sie=lg:/g/11sb8ph6sw:2:/m/0bs1n73:mt:fp:1>